

中期経営計画「BTvision22」 ～創業100年に向けて描く、成長シナリオ～

当社は、2020年度より3か年の中期経営計画「BTvision22（ブレイクスルービジョンニーニー）」をスタートさせました。「BTvision22」には、目まぐるしく変化を遂げる市場環境のなかで、持続的に企業価値の向上を図るべく成長し続けるために、あらゆる既存概念（プロセス・技術開発・コスト）を突き破って躍進するという意味が込められています。

2017年～2019年
前・中期経営計画
BTvision19

2020年～2022年
中期経営計画
BTvision22

5つの
基本方針

重点的に
取り組むSDGs

事業基盤の
拡充

グローバル化
の深耕

新事業の
創出

ESG/SDGs
経営の推進

財務戦略

4 質の高い教育を
みんなに

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

12 つくも責任
つかう責任

16 平和と公正を
すべての人に

6 安全な水とトイレ
を世界中に

8 働きがいも
経済成長も

13 気候変動に
具体的な対策を

2024年
創業100年

2020年4月よりスタートした中期経営計画「BTvision22」は

- ①「事業基盤の拡充」
- ②「グローバル化の深耕」
- ③「新事業の創出」
- ④「ESG/SDGs経営の推進」
- ⑤「財務戦略」

の5つを基本方針としています。

初年度である2020年度については、新型コロナウイルス感染症拡大（コロナ禍）の影響があり、セグメント別では産業機器関連事業において計画未達成となったものの、活況な半導体市場にけん引され、全社としては単年度目標を達成することができました。

①事業基盤の拡充

電子機器関連事業では、需要の拡大が見込まれる半導体市場に向けた不良率改善活動やリードタイム短縮活動など生産体制の強化を図るとともに、積極的な設備投資を行いました。

産業機器関連事業では、2020年3月に全面稼働した三田工場においてAGV（無人搬送車）による自動化やRFID（ICタグを用いた近距離無線通信による識別・管理システム）などのICT活用により、自動化・省人化を推進しています。

②グローバル化の深耕

コロナ禍の影響により海外への渡航が制限されるなど厳しい状況でありましたが、いち早く新型コロナウイルス感染症への対策に成功している中国において滁州ピラー工業（Pillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.）を設立し、拡大する中国市場への対応を強化しました。

③新事業の創出

5G、水素発電や脱炭素といった時代の求めに応じ新製品・新市場・新用途などの「新」をキーワードに当社の独自技術を活かした製品づくりに努め、電子機器関連事業及び産業機器関連事業に続く第3、第4の柱となる事業の創出を目指します。

また兵庫県三田市に技術開発センターを建設し、将来のマーケットを見据えたオープンイノベーションを推進することで、先端技術の取り込みと新たなイノベーションの創出を図ってまいります。

④ESG/SDGs経営の推進

ESG/SDGs推進委員会の設立や社内研修などを通じ、全従業員への周知を図るとともに、ダイバーシティ（多様性）の推進は当社の持続的な成長に不可欠なものと認識し、女性の活躍推進をはじめ一層注力してまいります。また、コーポレート・ガバナンスの強化、グループ行動指針の改訂によるコンプライアンス意識の向上にも引き続き取り組みます。

⑤財務戦略

経営上の重要課題である株主還元については、配当性向30%以上の目標に対し34.6%と達成することができました。また、自己株式取得（総額8億円、532千株）も実施し、配当及び自己株式取得と合わせた総還元性向は57.5%となりました。

今後も成長投資とのバランスを図り、安定的で継続的、かつ水準の向上を目指します。

財務戦略

（単位：百万円）

	BTvision19	(新) BTvision22		
	2019年度	2020年度	最終年度(2022年度)	
	最終年度 実績	初年度 実績	当初計画	修正計画
売上高	29,213	30,200	32,500	35,000
営業利益	3,683	4,847	5,100	6,500
営業利益率	12.6%	16.1%	15.7%	18.6%
ROE	6.2%	7.8%	8.0%以上	
配当性向	36.8%	34.6%	30%以上	
設備投資額	(3カ年累計) 11,649	(3カ年累計) 10,000	(3カ年累計) 10,000	

セグメント別

電子機器関連事業				
売上高	18,221	20,645	22,100	25,000
営業利益	2,253	4,130	4,000	5,500
産業機器関連事業				
売上高	10,915	9,471	10,400	10,000
営業利益	1,403	691	1,000	1,000

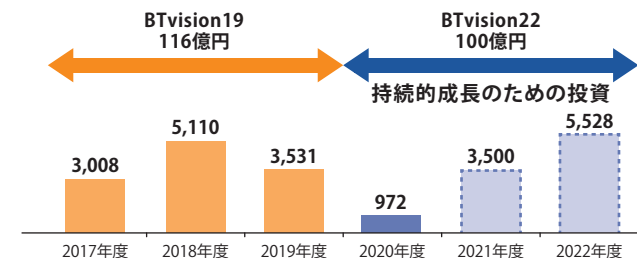
BTvision22取り組みの進捗

	2020年度の成果	今後のアクションプラン
電子機器関連	・ 免震すべり支承の新大臣認定書取得 ・ 半導体需要増に対応した生産体制の構築 ・ 5Gデータセンター向けのアンテナ基板の開発を実施	・ 海外装置メーカーへの拡販によるシェア拡大 ・ 半導体製造装置向け生産設備の更なる増強 ・ 微細化・集積化など先端技術開発の推進 ・ 産官学連携による新製品の開発
産業機器関連	・ AGVやRFID導入による生産の自動化及び省人化を実現 ・ 新市場参入に向けたマーケティング活動 ・ 技術開発センターの建設に着手	・ 水素向け極低温・高温・高圧力への対応をはじめとする自動車・医療などの成長市場へ参入 ・ 中国市場の開拓などグローバル戦略の強化 ・ DX技術活用による生産性向上 ・ コア技術と新素材の融合による新製品の開発

成長投資

各中期経営計画 設備投資額（ソフトウェアなど含む）

（単位：百万円）



株主還元

1株当たり当期純利益・配当金・配当性向

（単位：円） ■ 1株当たり当期純利益 ■ 配当金 ■ 配当性向

